



第2回 薬薬連携の会

～調剤薬局において生物学的製剤をどう取り扱うか～

日時:2015年10月26日(月) 19:30～21:00

場所:JCHO埼玉メディカルセンター 3階大会議室

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3

開会のご挨拶 さいたま市薬剤師会 会長 **堀野 忠夫** 先生

司会

JCHO埼玉メディカルセンター 薬剤科長

臺 裕子先生

演題1

薬-薬連携アンケート結果について

JCHO埼玉メディカルセンター 薬剤科

与那覇 晃子先生

演題2

生物学的製剤を選択する上でのポイント

JCHO埼玉メディカルセンター 内科

佐藤 理仁先生

演題3

関節リウマチ関連疾患の診療のポイント

JCHO埼玉メディカルセンター 内科

西村 幸治先生

ディスカッション

調剤薬局において生物学的製剤をどのように扱うべきか
～リウマチ治療DMARDs内服薬を含めて～

* 本研修会は日本薬剤師研修センター(研修認定薬剤師制度)の認定対象研修会です。1単位
* 会費:市薬会員は無料、市薬会員店舗の勤務薬剤師 ¥2,000、
市薬非会員店舗の勤務薬剤師 ¥4,000、その他の薬剤師 ¥4,000

※当日は、軽食をご用意しております。

共催:さいたま市薬剤師会 中外製薬株式会社